

学生のパソコンスキル向上のための

公的資格試験 CS試験導入のご案内

就職に有利な プラスαが ここにあります。

ワードやエクセルをただ使えるだけでは、時代が求める人材にはなり得ません。

**コンピュータサービス技能評価試験
(CS試験)**は、さらに実践的なパソコンスキルの習得によって、学生さんの就職活動を支援いたします。

実践的で洗練されたパソコンスキルを有する人材育成に CS試験の教育への導入を提案いたします!!

スマホやタブレットの普及に伴って、パソコン操作に苦戦する学生が増え、パソコンスキル習得を支援する大学が増え始めています。

就職活動を有利にするためには、不足したパソコンスキルを補うだけでなく、洗練されたパソコンスキルを身につけさせることが重要との認識が広まっています。

CS試験は、学生の実践的なパソコンスキルの習得を目指すものであり、教育カリキュラムとして導入する価値のある資格試験です。ぜひご活用ください。

学校関係者様の声

実務に沿った試験内容であることから、コンピュータの操作と併せて、ビジネス文書を作成する能力を身につけることができる点が、卒業後社会に出た時に非常に役立つ試験であると考えています。

評価する項目が明確になっているため、試験の結果から学生へのフォローアップができるなど、学生に対して効率的な指導ができる点は、他の試験には無いメリットだと思っています。

普段、学校で使い慣れているパソコン環境で実施でき、試験日も自由に設定可能で、授業のカリキュラムに合わせて、授業をしながら資格も取得できるという点では非常に効率的な試験だと思います。

お問い合わせ



中央職業能力開発協会

都道府県職業能力開発協会

<https://www.javada.or.jp/kyoukai/itiran.html>

職業能力開発促進法に基づき設立された公的団体です。

CS試験制度全体に関するお問合せについては、中央職業能力開発協会へ

〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10 ヒューリック高田馬場ビル

能力開発支援部 コンピュータサービス試験課

ホームページ <https://www.javada.or.jp> TEL:03-5843-3554 FAX:03-5950-6302

裏面もご覧ください

実践的で洗練されたパソコンスキルのための CS試験の導入について

CS試験の活用についてご関心がある場合は、まずは中央職業能力開発協会にご相談ください。

◀コンピュータサービス技能評価試験(CS試験)とは?

昭和58年度に「OA機器操作技能評価試験」という名称で技能評価試験を開始し、平成9年度に「コンピュータサービス技能評価試験」と改称し、現在は「ワープロ部門」、「表計算部門」、「情報セキュリティ部門」の3部門を実施しています。

コンピュータ関係試験のパイオニアとして35年の歴史があり、これまでに全国で270万人以上(年間約40,000人)の方に受験いただいています。

◀CS試験認定の特徴は?

【公的資格試験】

職業能力開発促進法に基づき設立された職業能力開発協会が行う試験です。

【実務的な試験内容】

「実務で役立つ試験」「即戦力となる人材の育成」を目標として、入門者からエキスパートまでを対象にしたグレードを設定(3級→2級(実務レベル)→1級)しています。

機能操作のみの評価ではなく、実務作業を想定した試験問題となっており、その評価により、即戦力の人材としてアピールできます。

【社会で戦力となる部門設定】

「ワープロ」、「表計算」に加えて現代社会でますます重要性が増している「情報セキュリティ」の3部門の試験を実施しています。

【リーズナブルな受験手数料】

5,350円~7,970円といったリーズナブルな料金体系です。

【近くに相談できる職業能力開発協会】

都道府県職業能力開発協会が相談窓口となり、試験実施をサポート! CS試験以外にも能力開発に関する幅広いサポートが受けられます。

◀認定施設とは?

カリキュラム、機材及び人員等について、一定の基準を満たしている場合には認定施設として試験を実施することができます。

認定施設に対しては、都道府県職業能力開発協会から試験問題を提供し、試験実施及び採点等の業務の一部を委託させていただきます。

◀認定施設になるメリットは?

【試験日は自由に設定】

5月上旬~翌年3月までの期間内に自由な日程・回数で実施することができます。例えば、各期の修了時に試験を実施して、教育の集大成としての評価・確認に活用できます。

【学生を確実に育成】

実務的な内容のため、パソコンスキル不足が問題となっている学生の就職に向けた実践教育に最適です。就職活動においてアピールポイントになります。

【学校内での受験】

普段学んでいる教室・機器を使うため、平常心で受験させることができます。

【明確な採点と評価そしてフォローアップ】

試験実施から採点業務までを行っていただきます。採点業務は、受験者の実技課題を個別に行いますので、それなりの時間を要しますが、学生の習得度合いが把握でき、フォローアップに役立ちます。即ち、“教育”→“評価”→“フィードバックによるフォロー”という理想的な教育体系を構築できます。

【施設使用や採点の費用配分】

受験手数料の一部(受験者1人あたり)を実施手数料としてお支払いいたします。

詳しくはHPへアクセス!

CS試験  で検索!



中央職業能力開発協会／都道府県職業能力開発協会